

高速交通網調査特別委員会資料

(平成25年10月7日)

ページ

- 1 スカイマークの米子鬼太郎空港への新規就航と準備状況について
(交通政策課) . . . 1
- 2 高速鉄道網整備を取り巻く現状について (交通政策課) . . . 3

地 域 振 興 部

スカイマークの米子鬼太郎空港への新規就航と準備状況について

平成25年10月7日
交通政策課

先般スカイマーク株式会社より公表された米子鬼太郎空港への新規就航計画とこれに向けた準備状況は下記のとおりです。

記

<スカイマーク株式会社による就航計画>

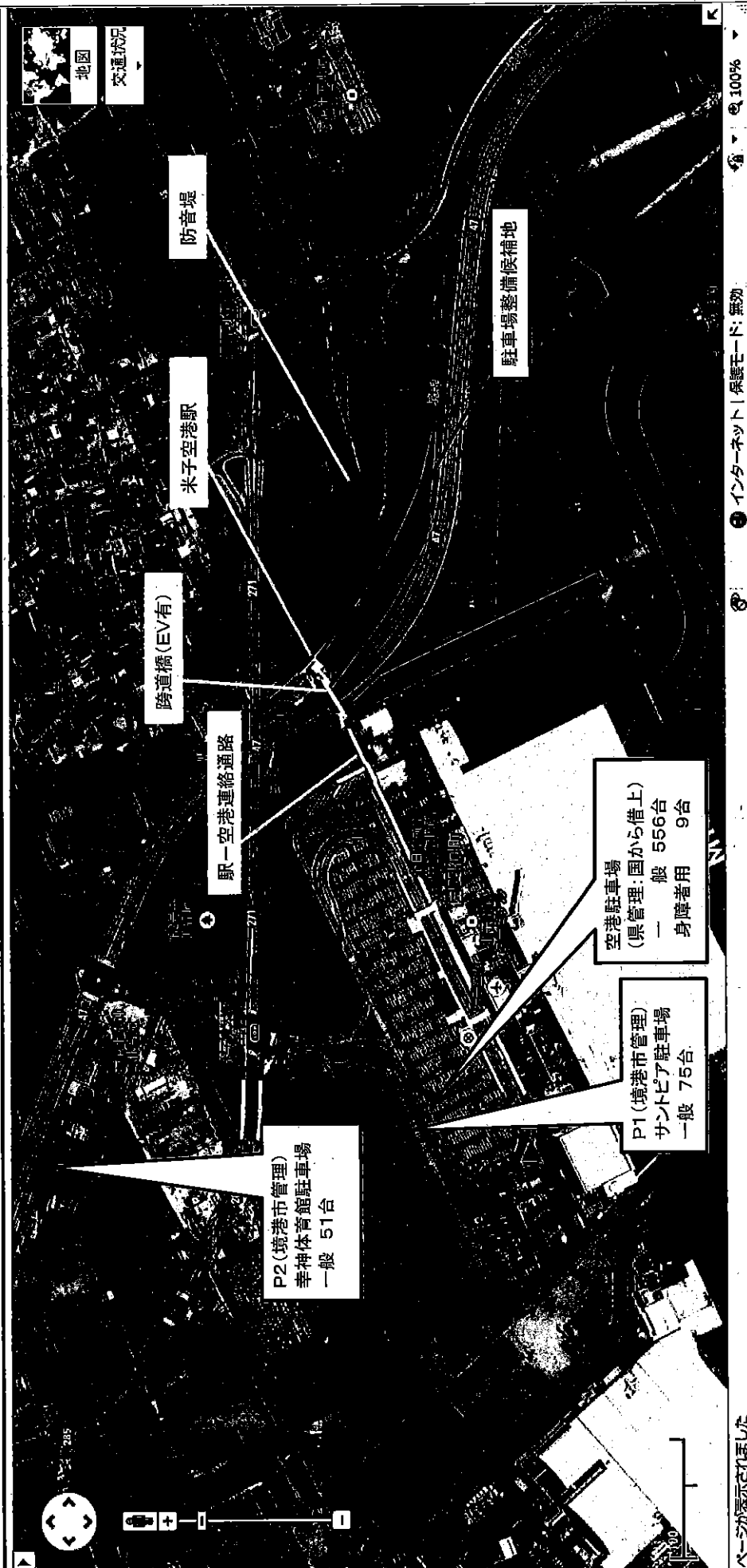
※ 下記は、同社による現在の計画であり、関係当局への申請及び許可が前提であり、変更の可能性があります。

- 1 就航時期
平成25年12月20日(金)
- 2 就航路線
・米子鬼太郎空港－成田国際空港 1日2往復4便
・米子鬼太郎空港－神戸空港 1日2往復4便
・米子鬼太郎空港－茨城空港(神戸経由便) 1日1往復2便(神戸便1往復を活用)
- 3 就航機材
ボーイング737-800(177人乗り)
- 4 予定運賃
・成田便 10,000円～15,000円
(就航から2か月間はキャンペーン価格9,800円も設定)
・神戸便 5,000円～10,000円
(就航から2か月間はキャンペーン価格4,800円も設定)
- 5 来年度就航計画
来年度、米子鬼太郎空港から羽田空港、新千歳空港、那覇空港にも就航予定。

<現在の準備状況>

- 1 国土交通省・自衛隊との調整
スカイマーク株式会社において、事業計画の変更等に係る準備を進めており、就航2か月前となる10月20日までは国土交通省に手続きがなされる予定です。
併せて、滑走路の使用について航空自衛隊美保基地と調整を進めています。
- 2 空港施設の整備等
米子空港ビル内にチケットカウンター、事務所等を整備するため、スカイマーク株式会社、空港ビル会社等関係者で協議を進めています。
また、駐車場の不足が懸念されることから、空港周辺の県有地を第1候補として駐車場の拡充について検討しています。
- 3 空港事務所の設置
米子鬼太郎空港のスカイマーク事務所には20名程度の人員を配置することとされており、11月上旬から順次職員を配置する予定と伺っています。
(当初、他空港での経験者を配置し、徐々に地元雇用に切り替えていく予定。)
- 4 路線の周知
山陰両県や就航先での路線の認知度を向上させるため、新聞、テレビなどの広報媒体を活用した情報発信を行うこととしており、県内空港の利用促進の観点から、スカイマークのみならず既存路線も含めた広報宣伝を10月中には開始する予定です。
- 5 旅行商品の造成・販売
就航先である首都圏、関西圏からの観光客誘致を進めるため、スカイマーク及び旅行会社と連携した旅行商品造成などにも取り組みます。

米子鬼太郎空港及び周辺状況



高速鉄道網整備を取り巻く現状について

平成25年10月7日

交通政策課

1 全国の新幹線の整備状況

営業路線

路線名	区間	距離	備考
<東海道新幹線>	東京・新大阪間	515.4km	S39.10開業
<山陽新幹線>	新大阪・博多間	553.7km	S47.3-S50.3開業
<東北新幹線>	東京・盛岡間	496.5km	S57.6-H3.6開業
	盛岡・八戸間	96.6km	H14.12開業
	八戸・新青森間	81.8km	H22.12開業
<上越新幹線>	大宮・新潟間	269.5km	S57.11開業
<北陸新幹線>	高崎・長野間	117.4km	H9.10開業
<九州新幹線>	博多・新八代間	130.0km	H23.3開業
	新八代・鹿児島中央間	126.8km	H16.3開業

整備中の路線

路線名	区間	距離	備考
<北海道新幹線>	新青森・新函館間（仮称）	148.8km	H27開業予定
	新函館（仮称）・札幌間（仮称）	211.5km	新青森・新函館間の開業から20年後の開業を目指す
<北陸新幹線>	長野・金沢間	228.0km	H26開業予定
	金沢・敦賀間	125.2km	H37開業予定
	敦賀・大阪	未定	未定
<九州新幹線（長崎）>	新鳥栖・武雄温泉間	51.3km	環境アセス手続中
	武雄温泉・長崎間	66.0km	H34開業予定
<リニア中央新幹線>	東京（品川）・名古屋間	286km	H39開業予定
	名古屋・大阪間	152km	H57開業予定

2 国の調査費【国土交通省】

(1) 目的、内容

- ・全国の鉄道ネットワークの現状について整理した上で、真に必要な施策の重点化を図り、利用者のニーズにこたえていくために必要な調査。
- ・今後、数年かけて調査を実施する予定。

(2) 現状と今後の予定

- ・平成25年度「幹線鉄道の高速度・利便性向上に向けた調査」

国費：0.9億円の内数

公告期間：H25.7.24～8.16

調達種別：企画競争

業務期間：契約日からH26.3.21まで

業務内容：全国の在来線鉄道の現状について、競合交通機関の整備状況やサービスレベルを含めた分析を行うとともに、そうした路線が果たすべき社会的意義や役割について検討し、今後の在来線鉄道に関する政策のあり方の検討に資する資料の作成。

- ・平成26年度概算要求

「幹線鉄道の現状を踏まえた高速度・利便性向上方策検討のための調査」

国費：1.7億円の内数

3 県の取組み

○国要望

- ・H25. 4. 24 国要望「日本海国土軸を形成する整備新幹線など高速鉄道網の整備について」
- ・H25. 7. 31 国要望「日本海国土軸を形成する整備新幹線など高速鉄道網の整備について」

- ・整備新幹線の整備が遅れている地方に対する在来線を含めた総合的な高速鉄道網の整備の方向性を示すとともに、災害に強い国土づくりを進めるために、高速鉄道の補完性・代替性（リダンダンシー）を確保することが重要であり、山陰新幹線をはじめとする整備新幹線など高速鉄道網の整備を推進すること。
- ・また、国土交通省において「幹線鉄道の高速鉄道化・利便性向上に向けた調査」を行う経費が平成25年度予算に盛り込まれた。これを確実に実施するとともに、高速鉄道の整備が遅れている地域に配慮したものとすること。

※環境にやさしい大量公共輸送機関としての鉄道機能をより発揮するためには、全国的な高速幹線鉄道網の整備が必要。

※しかしながら、全国新幹線鉄道整備法が1970年に制定されて以来約42年経過しているにもかかわらず、基本計画線については、着工はもとより調査・計画の目途さえ立っていないのが現状であるが、この間、同法は根本的な見直しはされず、また、その他に総合的な幹線鉄道計画は策定されていない状況にある。

※また、阪神・淡路大震災や東日本大震災でも明らかになったように、旅客、貨物輸送を確保するためには高速鉄道、高速道路などの高速交通網の多重化が不可欠。

4 山陰新幹線建設促進期成同盟会の取組み

○最近の取組み

- ・H25. 2. 12 兵庫県、島根県、山口県など構成団体と調整を図り、活動を再開
- ・H25. 4. 24 国要望「山陰地方における鉄道の高速化について」

- ・平成25年度予算案に盛り込まれている「幹線鉄道の高速化・利便性向上に向けた調査」を確実に実施し、鉄道の高速化について、改めて国としての明確な方針を示すこと。
- ・また、方針の決定に当たっては、特に鉄道の高速化が立ち遅れている地方に配慮したものとすること。

5 今後の予定

引き続き、国に対して整備促進の要望を行っていくとともに、国の調査の状況も注視しながら、山陰地方にふさわしい高速鉄道網整備の方向性を検討していく。

全国の新幹線の現状

H25.10.7

